

とされているのです。放たれた蛻は、礼を言うわけでも、恩を返すわけでもありません。この行いは、命をいただき生きる私たちが、せめてこの時期だけでも命を生かす側へ歩もうとする心そのものです。春彼岸、私たちの命を紡いでくださったご先祖さまやあらゆる命に感謝し、みほとけさまに手を合わせましょ。

「いたいたいた命によつて私たちは生かされていり」と伝えます。
彼岸の頃、人々は蜆しじみを買い求めました。その蜆しじみを食べるためによつて求めるのであります。蜆しじみに対しお経をあげ、自然へ戻したのです。これを「放生ほうじょう」といいます。また一升という数にも意味があります。日頃どれほど多くの命をいただいているのかを思い出すために一升

ん。私たちは日頃、蜆を買い求め、味噌汁などにしてその命をいただいています。生き物の命を糧として生きることは、人間として避けることができない姿です。仏教はこれを殺生の業として見つめると同時に

桑名は川に囲まれた自然豊かな土地で、古くから蛤や蜆の漁が行われてきました。この地には、次のような言葉が伝えられています

「彼岸の供養に蜆一升」

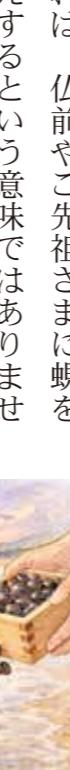
しじみ

これは、仏前やご先祖さまに蜆を

しじみ

お供えするという意味ではありません

しじみ





第27号(不定期)
発行所 東海山照源寺
<https://www.照源寺.net>
大字東方 1308
編集 井上隆昌

第27号(4)

照 源 寺 だ よ り

お願い
法要当日（特に入れ替え時間帯）は駐車場が大変混み合います
可能な方は靈園駐車場もご利用下さい。



正社三

御法話となります

閼正見上人

國二上

正福寺

滋賀県東近江市

第一座	午後1時より	法要・回向（約30分）
第二座	午後2時より	法要・回向（約30分）
法話	第二座法要終了後より (約45分)	入れ替え

春彼岸法要併修 水子永代供養法要

12月 除夜会 燈火供養		※ 当日不参加でご回向希望の方は事前にハガキにご志納を添えてお申込下さい。 梵鐘をつき新年を迎えましょう 日時：12月31日（木） 夕方 16:00～18:00 どなたでも撞くことが出来ます。
春の写経会		日時：3月31日（火）、4月6日（月）/19日（日）午後2時より 申込：お電話にてお申込下さい。 費用：1,000円／人
秋の写経会		日時：10月開催予定 申込：お電話にてお申込下さい。 費用：1,000円／人
※上記の行事の詳細は境内掲示板にてお知らせいたします。		
念仏は特別な人のものではなく、ともに称えるところにこそ味わいがあります。この尊い時間を皆様と分かち合えることを、心より有難く思つております。		五重相伝を終え、あらためて念佛の尊さを身にしみて感じております。最近、年回法要や写経会で皆様とともに木魚念佛をさせて頂いています。皆様と共に打つ木魚の響き、声を重ねるひととき、その一つひとつが、私にとつてかけがえのないご縁でございます。
木魚の音にあわせて「南無阿弥陀仏」と称えるとき、それは亡き方への追善であると同時に、今を生きる私たち自身の心を調べる営みであります。声を揃えるうちに、道場の空気がやわらぎ、仏さまの願いに包まれていることを実感いたします。		
		

令和8年 年回忌表	
一 周忌 令和 7 年	三 回忌 令和 6 年
七 回忌 令和 2 年	十三回忌 平成 二十六年
十七回忌 平成 二十二年	二十三回忌 平成 十六年
二十七回忌 平成 十二年	三十三回忌 平成 六年
三十七回忌 平成 二年	五十九回忌 昭和五十二年



※ 法事の予定は希望日時の3ヶ月程度前を目安に受付をしております。
お早めにご連絡下さい。

春の写経会 全3回

「一枚起請文」や「般若心経」などを写経いたします。「写佛」といつて仏様のお姿を写すものもあります。初心者の方も安心してご参加頂けますので是非お申込み下さい。

3月31日(火) 午後2時より
4月6日(月) 午後2時より
19日(日) 午後2時より

定員24名(先着順)
参加費各回 1,000円
申込先

※事前申し込みを必ずお願いします。

0594(22)3924



当日のスケジュール

13:45 受付・準備
14:00 写経 (約40分)
14:45 勤行納経 (約20分)
15:10 解散

照源寺護寺会 御礼

本年も照源寺護寺会にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ご案内早々に多くの方より護寺会費をご持参、ご送金を頂きました。ご協力頂いた方々へ家門守護札を順次送付致しております。御本尊前にて各家のご先祖供養、皆様の阿弥陀仏のご加護、さらには世界安寧の祈りをいたしました。今後とも当山護寺にご支援頂きますよう何卒宜しくお願ひ申し上げます。

また、今回入行できなかつた方々にも、このご法縁のぬくもりが広がっていくことを願うとともに、多くの方々に五重相伝にご入会頂けることを願つております。

当山はいつでも足を運べる、心のよりどころでありたいと思っています。御本尊様に手を合わせ、お念仏を唱えれば、どのような思いも阿弥陀様は受け止めてくださいます。

私は一人ひとりに向けられています。南無阿弥陀佛と唱えるたびに、今回の行を、折に触れて思い出してください、念仏の声とともに日常を歩んでいただければ幸いです。



成満された善男子



成満された善女人



敦賀西福寺へ御礼参り (12月2日)

五重相伝成満

期 間 令和7年10月22日～26日 (5日間)
入行者 善男女78名 贈五重25靈

勸 誠 師 敦賀 西福寺

伝燈佛子 照源寺第23世 唱阿彌陀隆昌

桑名市主催 桑名ほんぱく
令和7年12月13日

このたび、無事に五重相伝を成満することができ誠にありがとうございました。「教えを聞く」から「教えに生きる」へと歩み出す節目であります。仏さまの願いを聞くだけで終わりとなるのではなく、自分の人生の中に受け取っていく大切なご縁でございます。受者の皆さまが懸命に手を合わせ、僧侶の言葉一つひとつに耳を傾けていらっしゃる姿から、あらためて教えの尊さを学びました。わたしは法を伝える立場であります。しかし、実は法によって照らされている身であるとの思いをより一層深くいたしました。今回の五重相伝は成満しましたが、これで終わりではありません。阿弥陀さまの願いは、迷い、悩み、喜び生きる私たち一人ひとりに向けられています。南無阿弥陀佛と唱えるたびに、一步、また一步。心は整えられ、道は開かれていきます。どうか今回の行を、折に触れて思い出してください、念仏の声とともに日常を歩んでいただければ幸いです。